

# あきつ

2020年4月15日発行

第 625 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

## 新型コロナウイルス感染症と

### 感染予防対策について

園長 大石 勉

世界中で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るっています。

2019年12月、中国湖北省武漢で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は瞬く間に中国全土に広がり、その後は韓国やイタリア、ドイツ、フランス、スペイン、イギリスなどを中心に全欧州に拡散しました。さらに現時点(4月12日)では全世界25を超える国と地域で凄惨な大流行を起しています。中でもアメリカ合衆国の感染者数は49万人と最も多く、全世界の感染者は177万人以上、1089000人(感染者の6%)に達する傷ましい死亡が確認されています。14世紀に流行し、世界人口の1/5が死亡したと推計されるペストや1918年から1920年にかけて5億人が罹患し、数千万人が死亡したとされるスペイン風邪(インフルエンザ)に匹敵する史上最悪の流行病の一つとなっています。

日本では新型コロナウイルス肺炎の最初の症例は1月15日に初めて確認されました。武漢への渡航歴のある男性でした。その後クルーズ船を除く累計感染者数は2月1日には17人、3月1日には239人と微増にとどまっていますが、3月15日には780人(3月2日から3月15日までの1日平均39人)、4月1日には2178人(3月16日から4月1日まで、1日平均82人)、4月7日には4373人(4月2日から4月7日まで、1日平均36人)と急増し、死者も100名ほどに達しました。そのため、同日夕方、政府は緊急事態宣言を発令し、人と人との接触を8割削減することを目標に外出自粛を要請しました。密閉した場所での滞在や多数の集まりを避け、人と人が離れて行動することが求められています(密閉・密集・密接3密の回避)。

しかし、感染拡大を阻止して流行の鎮静化を待つだけでは不十分です。しばらくの間は感染拡大の勢いは強く、感染者は著増すると予測されます。感染者を漏れなく収容隔離し、適切な治療をおこなうための施設を十分に増設し、さらに簡便な診断法や治療機器・治療薬の開発・生産を積極的に推進してCOVID-19の世界的流行を抑え込む対策が重要と思われる。またワクチンの開発は、長引くことが予想される新型コロナウイルスとの戦いを可及的短期間で終結させる最良の方法であり、困難を伴う

チャレンジですが解決すべき喫緊の課題です。

## さて、新型コロナウイルスとは一体どんなウイルスなのでしょうか

新型コロナウイルスは今から55年前、普通の風邪の原因ウイルスとして発見されました。その後の研究で、ヒトの風邪の15%ほどは新型コロナウイルスによるもので、毒性の弱いウイルスとされてきました。しかし、18年前突然中国にSARS(重症急性呼吸器症候群)が出現し香港、カナダで流行しました。原因のSARSウイルスはコロナウイルスの一種であることが判明しました。死亡率は10%で、強い毒性を持っていました。幸い日本では発症が少なく、2005年以降は世界中で発生を認めていません。

新型コロナウイルスは発生初期にはインフルエンザと同程度の病原性と考えられていました。しかしその後の症例の集積により、多くがSARSコロナウイルスに類似した肺炎を引き起こすことや重篤な多臓器不全が少なからず見られること、死亡率も20%であることなどが示され、軽症の疾患ではないことが明らかになってきました。

一方COVID-19は感染しても症状がない、無症候性感染が15%ほど見られることや、感染して発熱や咳などの症状が出る前(潜伏期と呼びます)に既に呼吸中に感染性ウイルスを排出する場所があるなどの特徴もわかってきました。このステルス性(ひそかな侵入)によって、特有な症状を見て検査を行い、感染の有無を明らかにし、感染源の特定と感染の拡大を調査する、という通常の方法が有効に働かなくなっています。つまり感染源不明の感染の拡大です。

当初COVID-19は多くの高齢者に感染し重症化する傾向が強かったため、プーマーリムバー(Doonerimover: 団塊世代除去剤)などUSGS上で呼ばれていました。しかし日本における年齢が判明した感染者の調査は(FATALERT(ファストアラート)新型コロナウイルスリアルタイム情報 4月12日、20歳代から60歳代までで全体の51%、20歳代から50歳代までで69%を占め(20歳代から50歳代は各々16・17%、60歳代から90歳代は合わせて27%、20歳未満は4%に留まることを明らかにしました。この結果は、社会的な活動性が高い、若い世代に感染者が集中していることを示しています。若年者・壮年者の感染予防の徹底が流行蔓延を阻止する鍵と考えられます。

## 施設におけるCOVID-19の流行阻止には

新型コロナウイルスを施設に持ち込まないための対策として、新型コロナウイルス感染症の施設内流行を最小限に留める対策が必要です。当園では以下のような対策をおこなっています。

新型コロナウイルスを施設に持ち込まないための対策としては、職員や職員家族がCOVID-19に罹患しないことが第一の方策です。緊急事態宣言の発令を受けて、一人一人が人と人の接触を8割削減し、不要不急の外出を厳しく自粛することに尽きます。必要不可欠な外出の際は前述した3密回避がポイントです。また、公共交通機関を避けた無理のないマイカー通勤・外出時・帰宅時の手指衛生やマスク着用の徹底、会食の自粛を要請しています。また、始業時の検温による体調管理と手指消毒はルーチンとしておこなっています。

新型コロナウイルスが施設内に侵入した場合に備えて、施設内流行を最小限に留める対策が必要です。飛沫感染、接触感染、空気感染を考慮した標準的予防対策は徹底して実施しています。不要不急の会議は中止、食堂では密集した状態での使用を避けるため入室人数を制限、さらにセルフサービスを配膳サービスに変更して接触感染予防の徹底を図っています。また各病棟間の園生・職員の間は禁止し、同時に各職員が可及的に同じ園生を担当する介護・看護体制を敷いて流行の拡散を予防する対策を取っています。フロア内やフロア間の不要不急の移動を避けることも動線を分離した業務を試みています。

日本に居住するほぼすべての人は新型コロナウイルスに対して有効な免疫を持っていません。放置すれば国民の70%が感染するまで流行は止まないという疫学的推計が公表されています。「千丈の堤も蟻の一穴から」という例えを借りるまでもなく細心の注意を払って新型コロナウイルスの侵入と拡大を阻止し、COVID-19の完全な終息まで緊張を維持して、重症児者の療育活動を継続することが最も大切です。しかしながら仮に園内でCOVID-19が発生した場合には、自治体に報告してその指示に従って対処することになります。

以上、新型コロナウイルスの特徴や流行の現状をご説明し、秋津療育園での感染対策の取り組みについてご紹介しました。ご不便・ご心配をおかけしますが、ご理解を頂き、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



社会福祉法人  
天童会

重症心身障害児(者)施設  
秋津療育園  
秋津療育園  
東村山市認可保育園  
秋津療育園  
園一  
津療育園  
園一  
津療育園  
園一  
津療育園  
園一  
津療育園  
園一

〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1 Tel.042-391-1377 Fax.042-392-5422  
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1 Tel.042-306-1336 Fax.042-306-0138  
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1 Tel.042-391-1345 Fax.042-391-1358  
〒189-0002 東村山市青葉町 3-9-33 Tel.042-394-9628 Fax.042-394-9628



**特集**  
**「あきつ」の働く人**  
**その4**  
**中央管理室**  
 ちゅうおうかんりしつ  
 で働く職員さん

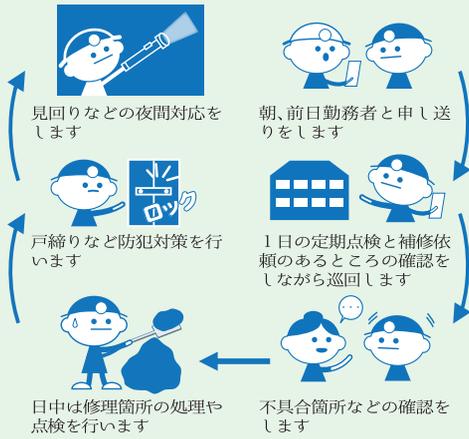
今回は中央管理室におじゃましました。中央管理室は建屋の設備管理をしています。どのような勤務内容なのか？聞いてみたいと思います。

**職員数と勤務体系を教えてください。**  
 常勤勤務3名が交代で24時間勤務しています。

**主な仕事の内容を教えてください。**

ボイラーや冷温水機等の運転管理、建物の全体の管理、維持、修理、保全、業者さんの対応などが主な業務内容です。

**1日の業務はどのように流れますか？**  
 朝9時に前勤務者と申し送りをして交代します。各チェック表の項目と照らし合わせながら、園内の巡回を行い、不具合などの確認作業を行います。日中は不具合箇所の対応にあたり、巡回の時間が多くなります。



**具体的にはどのようなことがありますか？**  
 まずはボイラーの点検をします。それから医療用ガスの点検、これらは毎時検針をして記録をとりまします。空調設備の点検、「三庫」の管理、防火ドアの点検、各扉の施錠など日常点検をします。これらのほか、に営繕作業が加わります。

私たちはみんなボイラー技士の資格を持っています。ボイラーは水蒸気を作る装置です。水蒸気を加圧して蒸気または温水を作り、熱源として利用します。当園では、給湯・食器洗浄・洗濯などに利用しています。

下図は当園給湯ボイラーの仕組みです。上水をボイラーで温水にし、最終的には各部署へ供給します。どんな時間でも、大量の給湯に対応できるように、補助熱源（コージエネレーション）排熱温水も利用して温度を保っています。これはガスで発電する装置です。35kWの発電機が4台、朝から夕方まで運転しています。その際に排熱がでます。その排熱を再利用（エコ化）してボイラーを助けています。

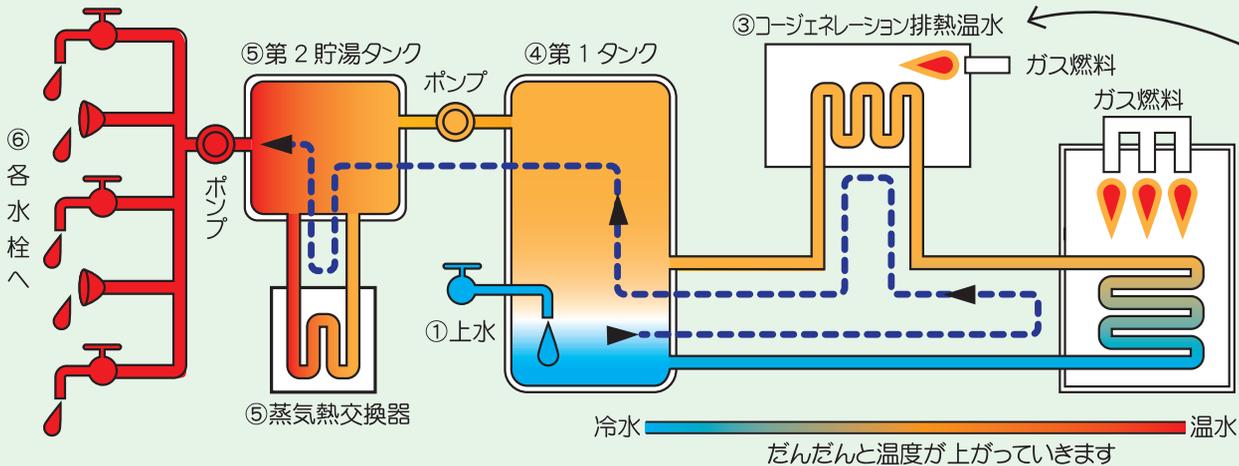


ボイラーはガスを使用していますので、取り扱い時は慎重になります。

**ボイラーってどんなものに使われているの？**

皆さんのご家庭の様に給湯器1台では、園全体のお湯は賅えきれません。工場やビル、病院、ホテルなど大きな建物の大半は、熱源としてボイラーが利用されています。

**当園の温水供給システム**  
 ガスを用いて発電するエネルギーシステムの排熱を再利用している。



それから医療用酸素の管理も大事な仕事です。酸素ボンベ数も毎日の使用量を目安に管理します。自動の警報盤も作動しますが、残量はいつも頭の隅に置いてありますね。停電時の自家発電機（ディーゼルエンジン）とポータブル発電機も定期的に運転しメンテナンスしています。



**利用者さんや職員との関わりはありますか？**  
 巡回や修理などで病棟に入る機会があります。「蛍光灯がきれてるよ。」「とか」「手が壊れてるよ。」「など利用者さんに声をかけてもらうことがあります。そういう時は、なかなか嬉しいですね。

**今後の課題はなんですか？**

現在の建屋も30年近くの月日が経ちました。CGS（コージエネレーション）システム、燃料を用いて発電するエネルギーシステムや自家発電機など近年更新した設備もありますが、古い設備も多く残っています。寿命はあっても残っていますが、日々のメンテナンスをしっかりと行って長く使っていく必要があります。



コロナウイルスの影響で、人の集まる所には行けなくなりました。その代わりに中庭に満開に咲いた桜や、色とりどりの花を少人数ごとに楽しみました。

3月の半ば頃から、暖かい日も何日もあり、利用者さんは気持ちよさそうに、外の空気を感じていました。桜の枝に向かって手を伸ばしている方もいました。

園のバスに乗り、ドライブにも出かけました。車に乗ったままですが、ここでも桜を見たり、いろいろな景色を見たりして気分転換をしています。(石田)



### 感染症対策時の過ごし方

4月になり新たな年度を迎えました。園庭に咲くきれいな桜をみながら、沢山の笑顔や決意と共にスタートの心湧く季節です。

しかし、今年には新型コロナウイルスの影響でいつもと違う様子の新年度を迎えました。

現在、当園では、感染防止に向けた様々な取り組みを行いながら日々を送っています。

職員は出勤時に体温、体調チェックを今まで以上に徹底しています。マスク不足は当園においても例外ではなく、補修室で作成した手作りマスクを各職員に配布しました。

病棟では、外部研修や実習生の受け入れ、職員間の過度な交流も取りやめています。換気や消毒を心掛けながら密閉、密集、密接の3密の状況を作らないよう徹底しています。

また、先の見えない感染拡大防止に最善の対策を取る一方で、利用者が安心して過ごせるよう、笑顔を大切にしながら日々取り組んでいます。

天候の良い時には、日光浴やドライブを中心に活動を行っています。

また、部屋にアロマオイルを炊いてリラックス出来る環境を提供したり、プロジェクトに映し出した映画を鑑賞を実施するなどしています。

保育士は自分の所属する病棟の園生に向け、ベープサートや音楽演奏など普段から培ってきた活動を実施しています。

利用者の機能維持も心配されるこのころではありますが、リハビリテーション室の職員が各棟に固定で入って懸命にリハビリにあたっています。

このように各職員が様々な工夫をして、この時期を乗り越えるよう力を合わせております。関係者の皆様には、ご不便、ご心配をおかけいたしますが、ご理解を頂き、ご協力をお願いいたします。

(療育部 齋藤)

リハビリテーション室

# リハビリ

## 視線入力装置を試みる

昨年の 6 月より、視線入力装置を使った取り組みを行っています。

視線入力装置とは、目の動きを専用の機器で読み取り、ゲームや文字入力などパソコンを使った活動が行える機械のことです。訓練で使用する時は、見る練習をしたり、それを使って好きな音楽や映像を見る遊びに使っています。

昨年末より、利用者様 6 名ほどで集まっていたいただき、この視線入力装置を使った、射的や風船割り、スクラッチなど利用者様に合わせたゲーム大会を行っています。合せて目や口をキョロキョロ動かしたり、同じ

最初は、どうしたらうまく見れるか戸惑っていた方も、チーム対抗になると、張り切って目をキョロキョロ動かしたり、同じチームの利用者の様子を見守ったり、応援して盛り上がっています。

皆さんも、機会があったら、リハビリテーション室に視線入力装置を試しに来てみてください。(小川)



## 成人を祝う会 通園センター

今年の新成人、S さんをお祝いしようという活動の時間や朝の会などで花束を作りました。花びらが柔らかく見えるように花紙を丸めたり握ったりと利用者さん皆で何枚も頑張っていました。

花束のメインは「スイートピー」。「門出・優しい思い出・永遠の喜び・蝶のように飛躍する」という花言葉のように新成人となり大人の第一歩を踏み出す S さんをお祝いするにふさわしい花を選びました。そしてピンク・黄色・紫など色とりどりの花が完成しました。余談ですが赤いスイートピーは本来存在せず松田聖子さんの歌から品種改良されたものだそうです。

式当日、お母様と共に参列し、所長、園長からのお祝いの言葉を頂きました。そして利用者皆で作った花を一人ずつお祝いの言葉と共に手渡していきます。始めは緊張の面持ちだった、さんもお母様の話しかけや皆の温かい雰囲気で大さんの笑顔を見せてくれました。

その様子を見守っていたお母様の表情が忘れられません。そして最後の一輪はお母様から。その姿を見て私たちが職員も感動と喜びで目に涙を浮かべ、様子も見受けられました。皆から渡した花は最後に花束としてラッピングし S さんに再度お祝いとしてプレゼントさせて頂きました。

(松崎)

古い写真や文庫の中から、もう一度見ておきたいものを掲載します。

# 秋津アーカイブス

## 記念樹

(平成 3 年 6 月 1 日 発行 「あきつ 302 号」より)

秋津療育園には何本かの記念樹があります。秩父宮妃殿下来園の日に御手植えいただいた「榎」。常陸宮妃殿下御手植えの「山茶花」。ノーベル賞受賞者のビール神父が来園記念に植えられた「金木犀」。故人となられた齋藤厚生大臣が植えてくださった「姫リンゴ」。ゼノ修道士を記念する「ライラック」。

この他に記念樹ではありませんが、秋津療育園が開園した時に敷地内にあった「赤松」と「グミ」の二本。開園の時、草野照子先生が聖書の詩に因んで植えられた「ぶどう」。樋田先生のお父様がボランティアで手入れしてくださった「藤」は毎年みごとな花房を楽しませ、プールの時期には涼しい日除けになりました。

この他にも私達のために御寄付いただいた樹々が何本かあって、季節の花を咲かせ、園生も職員も楽しみに眺めてきました。これらの木が建築工事の進められる間どうなるのか、職員にとって関心事の一つでした。

今新しい療育棟の西側の一角に、ひっそりと仮植されて、第二期工事が終わる日を待っています。枝を刈り込まれ、幹に麻布を巻かれて、肩を寄せ合うように植えられた樹々は、時々植木屋さんに水をかけてもらい、少しずつ新芽を吹き出して生命を主張しながら新しい場所を得る日を待っています。

\*現在の建屋が工事中の時に掲載されたものです  
\*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

## 1 寄付

有)魚三九 金子光利様、山本織子様、長沼恵美子様、日本基督教団東村山協会の皆様、鈴木二郎様、霊南坂協会の皆様、杉山静子様、三井所由紀子様、奥住玉江様、豊島岡女子学院生徒会の皆様、高田徳子様、星が丘自治会様、立正佼成会東村山教会長栗原一晃様、澤村彩子様、日本キリスト教団石神井教会(社会部)廣瀬茂一様、安楽久子様、里見芳子様、女子聖学院の皆様、公益社団法人東村山市医師会の皆様 皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。 社会福祉法人 天童会

## 編集後記

予想もできなかった形で令和 2 年度がスタートしました。例年行われる新職員のための研修会も健康チェック・手指消毒・十分な換気はもちろんですが、参加者の考慮とプログラムの再編成で実施しました。予定されていた歓迎会やご家族の皆さんへの紹介も延期です。いつもなら、何となく覚えられる顔や名前を今年は意識して覚えて、たくさん挨拶しないと、秘かに思っています。新職の皆さん、園生たちとの出会いが、皆さんをうんと成長させ、支えてくれるはず。どうぞ頑張ってください。これから、よろしくお祈りします。(高橋 英)

あきつ 第 625 号

E-mail : jimukyoku@tendoukai.net  
HP : http://www.tendoukai.jp  
発行人 / 飯野 順子  
発行 / 年 4 回 1・4・7・10 月 発行

